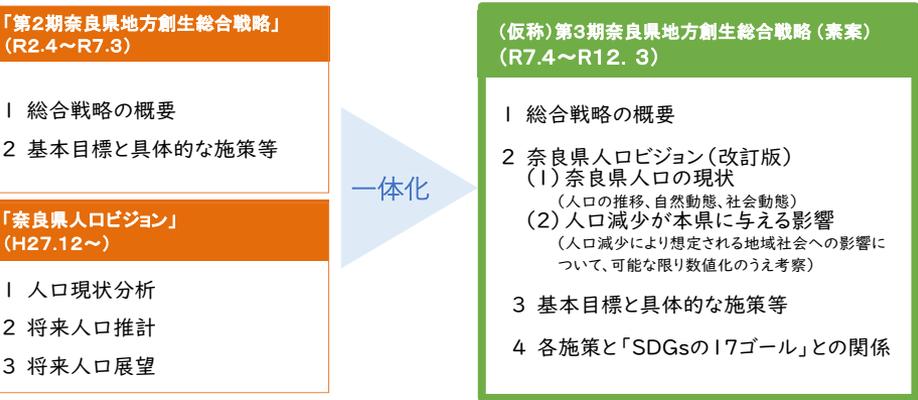


(仮称) 第3期奈良県地方創生総合戦略 (素案) の概要

策定の主旨

- 2014年(平成26年)に国が制定した「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、2015年(平成27年)に「第1期奈良県地方創生総合戦略」及び「奈良県人口ビジョン」を策定。また、2020年(令和2年)に「第2期奈良県地方創生総合戦略」を策定し、地方創生の取組を推進。
- 設定したKPIの達成に向けて順調に進捗している取組が多く、一定の成果が見られるものの、人口減少の速度は加速化しており、**これまで以上に、子育て支援や教育環境の充実、働く場所の確保に向けた企業誘致や県内企業の活性化など、未来を担う若者が県内に住み、働き続けられるための取組が必要。**
- そのため、「奈良県人口ビジョン」を改訂し、本県における人口の現状や将来の見通しを踏まえつつ、**新たに「(仮称)第3期奈良県地方創生総合戦略」を策定し、地方創生の取組を一層推進。**

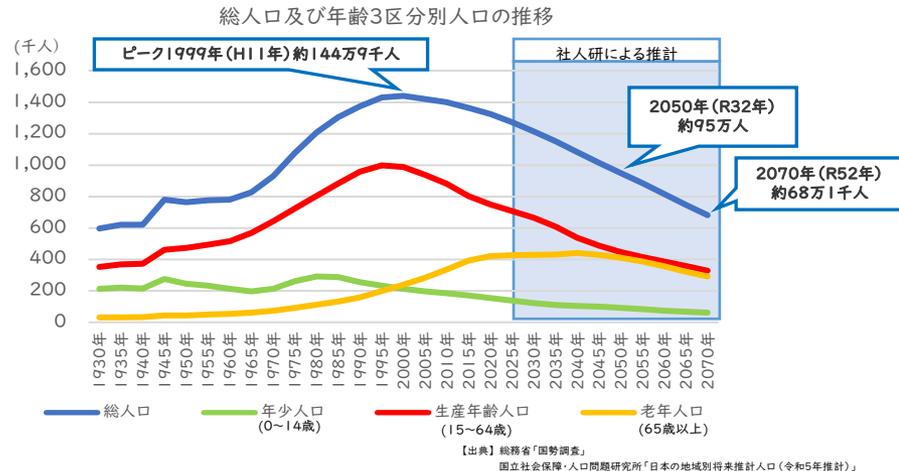
(仮称) 第3期奈良県地方創生総合戦略 (素案) の構成



- **急激に進行する人口減少社会を踏まえた内容とするため、従来は独立して策定していた「奈良県人口ビジョン」と一体化。**
- 「**3つの責任**」等を**基本目標**とし、目標ごとに具体的な施策を整理し、KPIを設定。
 - 【基本目標】
 - 1 県民や事業者の安心と暮らしへの責任
 - 2 奈良県の子ども、若者の未来への責任
 - 3 豊かで活力ある奈良県を創る責任
 - 4 3つの責任をしっかりと果たすために
- 各施策と「SDGsの17ゴール」との関係性を整理。
- 計画期間は、**2025年度(令和7年度)から2029年度(令和11年度)までの5年間。**

奈良県人口ビジョン (改訂版)

奈良県人口の現状



- 本県人口は今後も減少が続き、**2070年(令和52年)には約68万1千人まで減少**する見込み。
- 今後は、年少・生産年齢人口(64歳以下)の減少に加え、**老年人口(65歳以上)も減少に向かうことから、人口減少が加速化**する見込み。
- 近年、死亡数が出生数を上回る人口の「**自然減**」が**拡大**しており、**本県における人口減少の大きな要因**となっている。

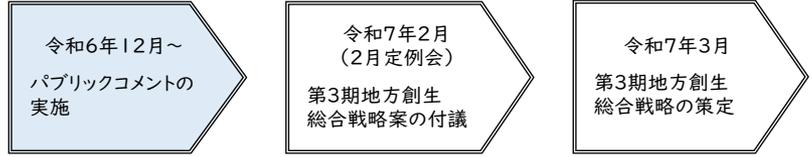
人口減少が本県に与える影響

- 人口減少や人口構造の変化は、多方面に影響を及ぼすことが想定されることから、**具体的な例(産業、子育て、教育、介護、くらし、税収の6項目)について、推計を行い考察。**

基本目標と具体的な施策等

- 人口減少の進行を緩め、県民の皆様が将来にわたって安心して暮らし続けられるよう、本県が進める様々な取組を4分野の基本目標に整理(詳細については別紙参照)。
- 本県の持つ可能性を最大限に引き出し、魅力的な奈良県を創ることで、加速化する人口減少にも対応。

今後のスケジュール



(仮称) 第3期奈良県地方創生総合戦略(素案)の概要

基本目標と具体的な施策等

- 可能な限り人口減少の速度を遅らせつつ、今後の人口減少を前提として、社会や行政の仕組みを再構築することが必要。
- 人口減少の進行を緩め、県民の皆様が将来にわたって安心して暮らし続けられるよう、本県が進める様々な取組を、以下の4分野の基本目標に整理。
- それぞれの取組についてKPIを設定し、進捗を確認しながら着実に実行。

基本目標

1

県民や事業者の安心と暮らしへの責任(3つの責任)

(1)安全・安心の確保

- ①災害対応力の向上
- ②消防力の向上
- ③治水対策の推進
- ④土砂災害対策の推進
- ⑤盛土規制法による安全・安心の確保
- ⑥安全・安心なまちづくり

(2)福祉の充実

- ①包括的な支援体制の整備
- ②障害福祉の推進
- ③地域包括ケアシステムの推進
- ④多様な福祉の担い手づくり
- ⑤国民皆保険制度の維持

(3)医療の充実

- ①最適な医療サービスの提供
- ②医療の担い手確保
- ③医大・県立系病院による安定的な医療の提供
- ④健康づくりの推進

基本目標

2

奈良県の子ども、若者の未来への責任(3つの責任)

(1)こども・子育て支援の充実、女性活躍の推進

- ①ジェンダーギャップの解消を始めた社会全体の意識・構造の改革
- ②若い世代、ひとり親世帯の所得の向上
- ③男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備

- ④個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚から妊娠、出産、子育てまで切れ目の無い支援の充実
- ⑤困難な状況に置かれているこども、子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実
- ⑥こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備
- ⑦妊娠や出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実
- ⑧こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

(2)教育の充実

- ①高等学校授業料等への支援
- ②教育現場の改善
- ③教育内容の充実
- ④教育環境の充実
- ⑤県立大学・県立医大の教育の充実

基本目標

3

豊かで活力ある奈良を創る責任(3つの責任)

(1)脱炭素社会の実現

- ①エネルギーを「つくる」
- ②エネルギーを「ためる」
- ③エネルギーを「かしこくつかう」
- ④普及啓発
- ⑤CO2を「ためる」

(2)工業・商業の振興

- ①人材確保の抜本的強化
- ②用地確保と先進的なグリーン化
- ③生産性向上と新規事業への強力な支援
- ④行政対応の不満・ボトルネック解消
- ⑤新たな成長のフロンティア(海外展開)
- ⑥重点的な外国人材の呼び込み

- ⑦企業価値を次世代につなぐ事業承継
- ⑧スタートアップへの新たな支援

(3)観光の振興

- ①魅力的な観光地域づくり
- ②観光の基幹産業化
- ③観光基盤の整備・充実
- ④観光情報発信・プロモーションの強化

(4)食と農の振興

- ①奈良の食の魅力づくり
- ②食を通じた健康増進と子どもの健全育成
- ③戦略的な販売の推進
- ④農畜水産物の生産振興

(5)林業の振興

- ①新たな森林環境管理体制の構築・推進
- ②持続的に森林資源を供給する森林づくり
- ③県産材の利用促進

(6)文化の振興

- ①文化財の保存と活用
- ②「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録
- ③文化活動の振興
- ④国際交流の推進

(7)スポーツの振興

- ①スポーツ参加の推進
- ②スポーツの推進を支える人材の育成
- ③スポーツに親しめる環境づくり

(8)南部東部地域の振興

- ①定住の促進
- ②交流の促進
- ③力強い市町村づくり

基本目標

4

3つの責任をしっかりと果たすために

(1)県発展のための基盤整備

- ①リニア中央新幹線「奈良市附近駅」早期確定等
- ②奈良県管理道路の計画的な整備
- ③京奈和自動車道等の早期全線開通
- ④利用者目線に立った効率的な道路の維持管理
- ⑤地域公共交通の活性化
- ⑥公共工事の品質確保の推進

(2)まちづくりの推進

- ①市町村と連携したまちづくりの推進
- ②住生活ビジョンに基づく持続可能な「住まいまちづくり」の実現

(3)広域での連携

- ①関西圏との連携
- ②県と市町村、市町村間の連携・協働

(4)県庁の働き方・職場環境改革の推進

- ①健康が基本的な価値となる組織の構築
- ②創造性を促し、生産性を高める環境の整備
- ③多様な人材が集まり、活躍できる包摂性の高い環境の整備
- ④組織内外における交流と結びつきを促す環境の整備
- ⑤主体的に意欲的な課題設定ができる環境整備と組織運営
- ⑥楽しく、失敗を恐れず果敢に挑戦できる人材の育成

(5)徹底した行財政改革

- ①デジタル戦略の推進
- ②県有資産のファシリティマネジメント(活用・維持・管理)
- ③県税収入の確保
- ④歳入・歳出の見直し

本県の持つ可能性を最大限に引き出し、魅力的な奈良県を創ることで、加速化する人口減少にも対応